

作品制作現況

菅野正人



世界の夜景シリーズの第五弾「世界遺産モンサンミ歇尔」

昨年は世界遺産白川郷の夜景を描いて出品しました。今年の世界の夜景シリーズの第五弾として、フランスの世界遺産モンサンミ歇尔を描こうと考えて、この夏休みフランスに取材に出かけました。

世界の夜景シリーズの中でも大型の絵が描かれているのですが、第一作目は今から14年前の1997年香港が中国に返還された年に、第50回東京都の勤労者美術展に香港の夜景をF50号で描いた「香港1997」を出品し、洋画の部で都知事賞を受賞しました。その年はあの青島幸男氏が都知事を勤めていた年でした。

その10年後、P100号で東京タワーを中心にした夜景「東京2007」、横浜博覧会で賑わう横浜の夜景を大栈橋から描いた「横浜2009『Y150』」、第4弾として昨年本展に出品した「世界遺産白川郷月光浴」と続き、今年には世界の夜景シリーズと銘打った以上海外にももつと目を向けてと考えて、夜間ライトアップで人気の世界遺産モンサンミ歇尔をターゲットに選んだと言う訳です。

油絵は27歳からスーパリアリズム絵画の上田薫先生の教室で習い始め8年間学びました。その頃、先生と一緒に「美術と歴史の旅」でフランス・イタリアと廻りました。

当時はモスクワ経由で行ったと記憶していません。今回は直行便で当時よりは遙かに時間的にも早く楽になったはずですが、当時より年齢の方が倍になっていたので往復は当時より倍疲れたような気がしました。皆さんも機会があれば是非お若いうちにどんどん行かれることをおすすめします。

そんな話はさておき、今回のテーマが夜景と言うことで、考えてみると北欧の夏は白夜と言われるくらいですが、パリの西に位置するモンサンミ歇尔も緯度で言えば樺太に近い北方の地で、夏場は1日のうち20時間くらい明るい時期なので夜も11時を過ぎないと暗くなりません。夜景を観るだけなら冬場がおすすすめです。夕食後から辺りを散策しながら夜景が映えるアングルを探し求めて歩き回りウン時間、今回は幸運にも？白夜のおかげで時間もたっぷりあったのでライトアップされた夜景が水辺に写る場所を見つけて、じっくりとモンサンミ歇尔の夜景を堪能することが出来ました。

夜景というテーマは油絵の題材としてもユニークで面白いテーマだと考えています。今後も世界の夜景シリーズとして描き続けていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2011.8.25

作品制作現況

竹林定夫

私の風景画制作方法について(水彩)

写生地は、自宅から自家用車で約五分、房総半島のほぼ中央部に位置するところに養老溪谷があり、同溪谷に入ると山肌には赤や黄の原色の紅葉が飛び込み、更には山間地に入ると山の風景に出会う。近景には山々が広がり、天候や時間によって左右されることもあるが午後を選び写生をすることにしました。

写生に当たっては、まず、材料用具の準備です。準備不足は仕上がりが中途半端になりやすいので必ず確かめる。

下描きでは、実景と向き合い、感じたことや考えたことを見つけたことなどに視点を決め「何を、どのように」描くか決めます。

描くときは、鉛筆(4B)を使い、前景の中央から中景、へと描き、中央の立ち木や平地から描き始め、山の奥行きや重なり、広がりなどに重点を置き、画面に形を配置しながら見直し決定線で仕上げた。

彩色では、不透明絵の具を使い、混色分量、水の調整、筆使いなど表現意図によつて工夫し、中央の立ち木や平地から大まかに描き始め、山の奥行きや広がり、山肌に留意して描き込み、全体に配色しながら見直し、乾いてから、部分的



に混色して色を重ね、全体の色調を整えて完成とした。

掲載作品は、自宅で制作中のF50号で、二点同時進行で描いた。

下描きは、写生で描いた絵を基にしましたが、説明的にならないように、再度見直し、自分の心に残ったことを大切にしながら、茶コソテを使って、中央の立ち木や平地から描きはじめ、山の重なりや広がり、空などの形を配分しながら見直し、それぞれを確かめて、全体配分を整えた。

彩色では、アクリル絵の具を主に不透明絵の具を使い、混色分量、水の調整、筆使いなどを工夫し、表現意図にあつた手法を試みながら、中央の立ち木や平地、特に山肌に留意し奥ゆきや広がり、空などに色を置き、全体の色調を確かめながら見直し、乾いてから、混色で重ね単調にならないようにした。

此の掲載作品は、ここまでの制作です、続いて、これからの本制作について……

中央の立ち木他に平地の奥に二本の立ち木を入れ形を作り整える。山肌と立ち木との色の対比、平地や空は全体の色調を見て描き込み、ほぼ完成に近づいたら、全体の色調を見直し、仕上げに入りますが、特に部分的に慎重に色を重ね、再度全体を見直し、単調にならないようにして完成させる。

年会費・特別出品料納入のお願い

昨年と同様年会費と合わせ、特別出品料のご負担をお願いしております。

- 年会費 委員 ¥35,000
- 会員 ¥30,000
- 準会員 ¥25,000
- 会友 ¥20,000

35回展に出品される方は、上記と特別出品料¥10,000を納入してください。既に納入済みの方はご容赦願います。未納の方は出来る限り、早期納入をお願いいたします。35回展が滞りなく実行されるよう努力しておりますのでよろしく願います。

郵便口座 0170-7-719971(新日本美術協会)

お問い合わせ 会計 鈴木忠義 TEL045-832-0504

携帯 090-3452-3564